

消化器外科Ⅱに通院されていた患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] Splenic preservation versus splenectomy during laparoscopic distal pancreatectomy for benign and low-grade malignant pancreatic tumor: A propensity score matching analysis

(良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討；Propensity score matching 解析を用いる)

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 平野 聡 (消化器外科Ⅱ・教授)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野 中村 雅史 教授

[共同研究機関名・研究責任者名]

愛知県がんセンター中央病院 独立行政法人国立病院機構	清水 泰博	消化器外科
長崎医療センター	黒木 保	外科
松山赤十字病院	西崎 隆	外科
徳島大学病院	島田 光生	消化器・移植外科
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	石津 寛之	
獨協医科大学病院	窪田 敬一	第二外科
鹿児島大学病院	前村 公成	消化器・乳腺甲状腺外科
弘前大学医学部附属病院	石戸 圭之輔	消化器・乳腺・甲状腺外科
自治医科大学附属さいたま医療センター	力山 敏樹	一般・消化器外科
自治医科大学附属病院	笹沼英紀	消化器外科
兵庫県立がんセンター	藤野 泰宏	消化器外科
広島市立広島市民病院	塩崎 滋弘	外科
東京女子医科大学病院	樋口 亮太	消化器・一般外科
久留米大学病院	奥田 康司	外科

茨城県立中央病院	村上 綾子	総務課
がん・感染症センター 都立駒込病院	大目 祐介	肝胆膵外科
国立病院機構 大阪医療センター	濱 直樹	外科
信州大学医学部附属病院	清水 明	消化器外科
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	橋本 雅司	消化器外科
帝京大学医学部附属病院	佐野 圭二	外科学講座
大分大学医学部附属病院	岩下 幸雄	消化器・小児外科
北里大学病院	隈元 雄介	肝胆膵外科
国立病院機構九州医療センター	高見 裕子	肝胆膵外科
財団法人厚生会 仙台厚生病院	山内 淳一郎	消化器外科
九州大学病院	大塚 隆生	第一外科
旭川医科大学病院	古川 博之	外科学講座消化器病態外科学分野
東北大学病院	石田 晶玄	消化器外科学
近畿大学医学部附属病院	松本 逸平	外科
奈良県立医科大学附属病院	野見 武男	消化器・総合外科
東京大学医学部附属病院	石沢 武彰	肝胆膵外科
筑波大学附属病院	倉田 昌直	消化器外科
和歌山県立医科大学附属病院	川井 学	第2外科
宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志	肝胆膵外科
熊本大学医学部附属病院	山下 洋市	消化器外科
名古屋大学医学部附属病院	水野 隆史	消化器外科 I
杏林大学附属病院	阪本 良弘	外科
山形大学医学部附属病院	木村 理	第一外科
大阪大学医学部附属病院	江口 英利	消化器外科
関西医科大学附属病院	里井 壯平	外科
関西医科大学附属病院	山木 壮	外科
東京慈恵会医科大学附属病院	後町 武志	肝胆膵外科
大阪医科大学附属病院	廣川 文鋭	一般・消化器・小児外科
富山県立中央病院	天谷 公司	外科
山口大学医学部附属病院	永野 浩昭	第二外科
大垣市民病院	前田 敦行	外科
東京医科歯科大学医学部附属病院	田邊 稔	肝胆膵外科
兵庫医科大学病院	鈴木 和大	肝胆膵外科
北海道公立大学法人	木村 康利	消化器・総合、 乳腺・内分泌外科
札幌医科大学附属病院		
神戸大学医学部附属病院	田中 基文	肝胆膵外科
三重大学医学部附属病院	水野 修吾	肝胆膵・移植外科
福島県立医科大学附属病院	丸橋 繁	肝胆膵・移植外科
新潟大学医歯学総合病院	坂田 純	消化器・一般外科

藤田医科大学病院	加藤 悠太郎	消化器総合外科
大分赤十字病院	福澤 謙吾	外科
千葉大学医学部附属病院	有川 真吾	臓器制御外科
山梨大学医学部附属病院	川井田 博充	外科学講座第一教室
岩手医科大学附属病院	新田 浩幸	外科学講座
大阪市立総合医療センター	金沢 景繁	肝胆膵外科
県立広島病院	中原 英樹	消化器・乳腺・肝胆膵外科
東京医科大学病院	土田 明彦	消化器外科・小児外科
愛知医科大学病院	佐野 力	消化器外科
北九州市立医療センター	西原 一善	外科
地方独立行政法人栃木県立がんセンター	富川 盛啓	肝胆膵外科
東邦大学医療センター大森病院	大塚 由一郎	消化器外科
愛媛大学医学部附属病院	小川 晃平	肝胆膵・乳腺外科
島根大学医学部附属病院	川畑 康成	総合外科学
福山市民病院	日置 勝義	
京都第二赤十字病院	谷口 弘毅	外科
大津赤十字病院	廣瀬 哲朗	外科
医療法人天神会新古賀病院	高尾 貴史	消化器外科
地方独立行政法人神奈川県立病院機構		
神奈川県立がんセンター	森永 聡一郎	消化器外科（肝胆膵）
群馬県済生会前橋病院	細内 康男	
大阪赤十字病院	森 章	
群馬大学医学部附属病院	調 憲	肝胆膵外科
大阪警察病院	種村 匡弘	消化器外科
浜松医科大学医学部附属病院	坂口 孝宣	外科学第二講座
地方独立行政法人 堺市立病院機構		
堺市立総合医療センター	中平 伸	肝胆膵外科
独立行政法人国立病院機構		
仙台医療センター	島村 弘宗	外科
独立行政法人 国立病院機構		
福山医療センター	稲垣 優	外科
岐阜大学医学部附属病院	村瀬 勝俊	高度先進外科 准教授
東京医科大学八王子医療センター	千葉 斉一	消化器外科・移植外科
熊本赤十字病院	横溝 博	第一外科
富山大学附属病院	吉岡 伊作	第二外科
北海道消化器科病院	森田 高行	外科
滋賀医科大学医学部附属病院	谷 眞至	外科
東京慈恵会医科大学附属柏病院	三澤 健之	外科
独立行政法人 国立病院機構		
岩国医療センター	青木 秀樹	外科

八尾市立病院	佐々木 洋	外科
東京慈恵会医科大学附属第三病院	岡本 友好	外科
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	小林 健二	外科
独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	武田 裕	外科
名古屋第一赤十字病院	三宅 秀夫	一般消化器外科
独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	杉町 圭史	肝胆膵外科
国立病院機構呉医療センター ・中国がんセンター	首藤 毅	外科
北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院	吉田 信	消化器センター外科
福井県済生会病院	寺田 卓郎	外科
名古屋市立大学病院	松尾 洋一	消化器外科
独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	川本 雅彦	外科
公立大学法人横浜市立大学附属 市民総合医療センター	川口 大輔	消化器病センター外科
京都第一赤十字病院	谷口 史洋	肝臓・膵臓外科
佐賀県医療センター好生館	三好 篤	消化器外科
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	西躰 隆太	消化器センター・外科
ベルランド総合病院	小川 雅生	肝胆膵外科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	薄葉 輝之	
川崎市立川崎病院	相浦 浩一	
大分県立病院	宇都宮 徹	
東京医科大学茨城医療センター	鈴木 修司	外科(消化器)
藤田医科大学 ぼんたね病院	堀口 明彦	消化器外科
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院	松本 譲	外科
一般財団法人 甲南会 甲南病院	後藤 直大	外科
一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院	篠浦 先	外科
国立国際医療研究センター病院	竹村 信行	肝胆膵外科
鹿児島市立病院	濱田 信男	消化器外科
社会医療法人千葉西総合病院	緒方 賢司	外科
日本赤十字社和歌山医療センター	安近 健太郎	肝胆膵外科
国際医療福祉大学三田病院	羽鳥 隆	消化器センター
福岡県済生会福岡総合病院	内山 秀昭	外科
Seoul National University Bundang Hospital	Professor; Yoo-Seok Yoon, MD, PhD	

[研究の目的]

これまでに脾温存と脾合併切除術を比較した大規模な研究はないため、日韓の専門施設で行われた LDP（腹腔鏡下脾体尾部切除術）症例を集積し脾温存術と脾合併切除の成績を患者さんの背景を揃えた上で解析を行い、いずれが優れているかを検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

膵臓疾患の患者さんで、1993年1月1日から2018年12月31日までに腹腔鏡下脾体尾部切除術の治療を受けている方

○利用するカルテ情報

a. 術前情報；

性別、年齢、身長、体重、Body mass index (BMI)、術前アルブミン値、ASA-PS 分類（米国麻酔科学会全身状態分類）、手術歴の有無、術前糖尿病の有無、腫瘍局在（体部・尾部）

膵切除ラインにおける膵の厚み、および主膵管径（術後 CT で切除ラインを確認する）
血液学的所見：血球分画、CRP、肝機能（Bil、LDH、AST、ALT、ALP、Alb、TP）、腎機能（BUN、Cr、Na、K、Cl）、腫瘍マーカー（CEA、CA19-9）

b. 手術情報；

手術日（年/月/日）、膵の性状（soft/hard）

膵切除ライン(right half/left half between SMV and splenic hilum)

膵切離法

脾温存、脾動脈温存の有無、脾静脈温存の有無

膵断端処理（Mesh 貼付の有無・Glue 散布の有無・その他）

手術時間（分）、開腹移行の有無、開腹移行の理由、術中出血量、術中輸血の有無

c. 術後情報；

病理診断、切除膵の長さ

術後膵液瘻の有無（下記参照）

術後膵液瘻に関連した感染症の有無（発熱、白血球上昇）

術後感染症の有無

術後合併症(I/II/IIIa/IIIb/IV/V using Clavien-Dindo classification)

合併症対処法

退院日

術後在院日数

術後～退院前に亡くなられたかの有無と亡くなられた場合の原因

d. 経過観察データ

新規糖尿病発生の有無

門脈血栓の有無
胃周囲静脈瘤の有無
脾摘出後重症感染症の有無
再発の有無（術後病理診断が悪性であった場合）

この研究は、膵臓疾患の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、脾温存術と脾合併切除の成績を解析のために、九州大学に CD-ROM、メールで送付します。九州大学で集積した日本側データは Seoul National University Bundang Hospital へ送付されます。最終的に Seoul National University Bundang Hospital で全てのデータを解析し報告を行います。Seoul National University Bundang Hospital に送付したデータは 5 年間保存され、その後破棄されます。

[研究実施期間] 実施許可日～2023年3月31日（登録締切日：2020年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院 消化器外科Ⅱ 担当医師 田中 公貴
電話 011-716-1161 (内線 5932)